

事業番号	371
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民会館施設整備事業						担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	生涯学習課				
	事業期間	平成22年度			～	平成24年度			担当係	社会教育係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		3 文化芸術団体などの連携拠点を整備する						
		副目的											
	予算区分	款	10	項	5	目	3	大	2	中	2		
	根拠法令・個別計画												
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	0 %		委託	0 %		助成	0 %				
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民会館の施設整備を円滑に行い、安全で快適に利用できる施設とする。											
	内容 (手段)	平成23年度は市民会館の施設整備を行わなかった。 ◎24年度実施内容 楽屋5・6の空調更新工事を実施する。											
受益者負担	無												

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円			0	1,900	
		正職員	従事者数	人			0.00	0.03
			人件費	千円	0	0	0	159
		その他職員	従事者数	人			0.00	0.00
			人件費	千円			0	0
		費用合計	千円	0	0	0	2,059	
	対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
財源	一般財源	千円	0	0	0	2,059		
	国・県支出金	千円			0	0		
	その他財源	千円			0	0		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	施設整備件数	件	目標			—	—
			実績			0	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	施設整備件数	件	目標			—	—
			実績			0	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	市民会館の施設整備は行わなかった。				
		事業実施における課題等	施設の老朽化が進んでいる。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民会館の施設整備に支障をきたし、利用者の安全、安心な施設運営ができない。				
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持				
		判定理由	市民会館の施設整備を円滑に行うため、工事費の予算計上は必要である。				
		改善案等	施設の老朽化が進んでおり、大規模な施設の改修計画を検討する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				